

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月23日

**【評価実施概要】**

事業所番号	1270500570
法人名	レビー・ケア株式会社
事業所名	レビー・グループホームおゆみ野苑
所在地	千葉県千葉市緑区おゆみ野南6-48-2 (電話) 043-293-8080

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4 千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成21年2月19日	評価確定日	4月6日

【情報提供票より】(21年2月1日事業所記入)

**(1) 組織概要**

開設年月日	平成16年5月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤7人, 非常勤13人, 常勤換算	11.7人

**(2) 建物概要**

建物構造	鉄筋 造り
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

**(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)**

家賃(平均月額)	80,000 円	その他の経費(月額)	光熱費20,000円, おむつ代等実費	
敷 金	無し			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有り( 300,000 円)	有りの場合 償却の有無	有り	
食材料費	朝食	360 円	昼食	510 円
	夕食	560 円	おやつ	食費に含む 円
	または1日当たり		1,430 円	

**(4) 利用者の概要(2月19日現在)**

利用者人数	13 名	男性	5 名	女性	8 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 78 歳	最低	53 歳	最高	95 歳

**(5) 協力医療機関**

協力医療機関名	ちぐさ会クリニック 医療法人社団 海星会
---------	----------------------

**【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】**

おゆみ野苑は閑静な新興住宅地の一角にあり、裏はゴルフ場、大型スーパーまでは徒歩でも行けるという、自然と日常生活の利便さを兼ね備えた場所に建てられている。外観も周囲から浮くことなくすんなりと溶け込めるような造りになっており、落ち着いた雰囲気をかもし出している。3~4ヶ月に1回のドッグセラピーなどの大きな年間行事は、母体のレビーケア(株)が管理運営しており、充実した内容の余暇活動が提供されている。また、行政からの相談により、生活保護の人の受け入れもなっており、心身及びさまざまな環境の不具合をサポートし、人生の最期まで人間の尊厳を全うできる終身型グループホームを目指している。

**【重点項目への取り組み状況】**

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	ホーム独自の理念が新たに作成され、玄関に入るとすぐ目につくよう大きく掲示されている。新興住宅地で若い世代が多い中、近隣小学校の体験学習の場としてホームに招待する等、積極的に地域に溶け込もうとする努力がみられた。家族への報告については本人の日常生活ぶりを加える事により、具体的な状況報告となった。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価報告書を職員に読んでもらい、内容を点検しながら意見交換をして取り組んだ。今後は各項目の理解や課題を、職員それぞれが把握できるようさらなる取り組みを行いケアの質の向上につなげていくことを期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	人手不足により、運営推進会議はまだ一回しか開催されておらず、有効に機能しているとは言いがたい。新入職員も入ったことであり、今後は住民への積極的な働きかけを行い、行政関係の協力を得ながらホームの状況を周知し、地域に根付くよう努力していくことが望まれる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	法人から発行する便り「みのり」の他にホーム独自の「おゆみ野苑」便りを発行し、一人ひとりの健康状態や介護状況を家族に報告する内容が増え改善されている。本来ならば顔を見ながら直接話したほうが意思疎通が図れると思われるが、生活保護の入居者もあり、家族が頻りにホームを訪問することは難しい状況となっている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	新興住宅地の中、開設時から自治会に加入しており、夏祭りに参加したり、ホームに近所のボランティアが訪れたり等の交流を行っている。法人が発行するホーム便りを近隣にも紹介し、小学校の体験学習の場にもなっている。

2. 評価結果 ( 詳細 )

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念の他に「おゆみ野苑」の文字を頭に付けて「同じ目線で ゆとりある生活を みんなで手を取り合いのどかな 苑でゆったり過ごしましょう」というホーム独自の理念を作り上げ、それを玄関の目立つ場所に大きく掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム会議等において全員で唱和することで、理念の共有を図っている。分かりやすい理念であり、職員は理念のもと、ケアにあたっている様子が伺えた。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新興住宅地で若い世代が多いが、入居者は散歩時に出会った住民と挨拶を交わすようにしている。ホームは開設当初から自治会に加入し、夏祭り等の行事に参加している。また、「便り」の配布、近隣小学校の体験学習、ホームのイベントへの地域住民の参加など、地域との交流に努めている。		
ホーム					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム会議において職員に評価報告書を読んでもらい、内容を点検している。問題点があれば意見交換をして具体的な改善に向けて取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年度は職員が不足していたこともあり、思うように運営推進会議は開かれなかったが、今年度は職員も充実してきたので会議を実施し、サービスの向上に活かしたいと思っている。		運営推進会議はまだ一回しか行なわれていない。今後は自治会や行政の協力を得ながら定期的な開催を目指し、入居者の現状報告や防災訓練の協力、認知症への理解を得る場として活用していくことが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員が月に一度来訪しており、相談にのってもらったりしながらサービスの質の向上に努めている。また、入居者が病院から退院する時には区の福祉サービス担当者と密に連絡を取り合っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	法人で発行している便りだけでなく、ホーム独自の「おゆみ野苑だより」に一人ひとりの近況を書き込み、預かり金出納表と一緒に家族に送付している。さらに家族の訪問時にも健康状態等をくわしく話しており、訪問が難しい家族には電話で報告するようにしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を契約書に明記し、本人やその家族に説明している。ホーム内には意見箱の設置もされており、意見や要望等はホーム会議で話し合い、改善して質の向上を図っている。		より、家族等の意見を吸い上げるためにも、家族会の立ち上げや、家族が運営推進会議に出席できるような仕組み作りが期待される。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	移動は法人内の移動も含めてなるべく行なわないようにしている。職員は地元の人を採用するようにしているので、入居者との話も通じ易い。また、やむを得ず退職するときは入居者に精神的ダメージのないように、ていねいな説明を心がけている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は管理者会議の中で職員の指導方法を研修し、職員は法人の全体会議やホーム会議において内部研修を受けている。外部研修に行った職員は、それをホーム会議の中で報告し、皆で共有できるようにしている。		法人としての「教育マニュアル」はあるが、活用されていない。具体的な介護技術や認知症の人への接し方などを日常のケアを通じて学んでいく体制が必要であり、ホームに合った研修の取り組みがあるとさらに良いと思われる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉市のグループホーム連絡会に加入しており、2ヶ月に一回勉強会を通して地域の同業者と現況報告等を行い、交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前にはホーム内を見学してもらい、サービスを開始する前に家族や本人からの要望を聞き取っている。入居してからは本人の様子を確認しながら徐々に慣れてもらえるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、入居者を人生の先輩としてとらえ、昔のことを教わったり、逆に料理や洗濯ものたたみを手伝ってもらったりと、お互いが支えあう気持ちを持って生活している。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時にまず聞き取り、入居後は普通の会話や観察によって職員みんなで把握するように努めている。これらをプロフィールとして、まとめている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員からは申し送り、ホーム会議、全体会議などで意見を出してもらい、家族からは来訪時や電話で要望等を聞き、作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的には3カ月ごとに、状態に変化があるとその都度、医師や家族と確認しながら見直ししている。家族とは家族の訪問時に話し合っている。面談が難しい家族には電話して聞いている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	依頼があれば、空き室を利用して緊急ショートステイを受け入れている。主治医は往診があるが、内科以外の科目受診の場合は通院・院内介助を支援している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院は、本人・家族の希望をもとに決めている。現在、主治医は利用者全員が協力医療機関を利用しており、病院の看護師にはよく相談に乗って貰っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の依頼による看取りの実績がある。主治医や家族と繰り返し話し合い、看取り同意書が作られている。職員もターミナルを経験することで、学ぶことも多く、今後出来るだけ要望に応えていきたいと考えている。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員同士の会話の中で個人名を出さないように注意し、トイレ誘導や介助の際の言葉づかいにも配慮している。個人情報のあるファイルは事務室内の鍵付きの書棚に保管されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	親しい入居者同士おしゃべりしたり、リビングに敷いた畳でくつろいだり、入居者のペースで思い思いに過ごしている。散歩や外出等、できるだけ希望に沿うようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お椀、湯呑、箸は各自のものがある。庭で行った流しソーメンやリビングでの居酒屋開店はたいへん好評だった。公園に弁当持参で花見に行くこともある。配膳や後片付けを手伝う入居者もいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1階の大浴場は「お茶風呂」で、肌がつるつるになる、殺菌効果があると好評である。2階には個浴があり、希望に応じて毎日入浴可能である。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の際の食材切り、洗濯ものをたたみ、雑巾を縫う、植木の水やり、野菜作り等、其々の役割がある。また、レクリエーションもトランプ、折り紙等いろいろ用意している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩には毎日全員で出かけている。スタッフと一緒に郵便局まで手紙を出しに行ったり、年に数回はドライブして買い物や食事をすることもある。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は大通りに面しており、外部からの侵入を防ぐ意味で、職員の目が届かない時間に限って鍵をかけている。庭に面した引き戸は出入り自由である。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難経路の案内図が1階、2階とも廊下に貼り出している。緊急時マニュアルも整備され、建築法に定める防災管理者を定めている。避難訓練は年2回行っており、地域住民の協力を得られる体制もある。毎日、夜間の非常時に駆けつける当番が決まっており、勤務表に記載がある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材はカロリー計算をしたものが、宅配業者から納入される。一人ひとりの食べる量、水分量は個別ファイルに記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや廊下には、手作りのぬり絵、カレンダー、折り紙、写真などが飾られ、あたたかい雰囲気がある。また、こまめに換気をして、空気がよどまないようにしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれが、自由にカーテンや家具を持ち込み、居心地のよい部屋づくりをしている。		